



むすんで、うみだす。

京都産業大学



ベリタスアカデミー

1

出題傾向

2

過去問題の解説

3

合格に向けて

1. 出題傾向

1 出題傾向

π

試験時間



☐ 3科目型：60分

☐ 2科目型：80分

配点(100点)



☐ 第I問：35点

☐ 第II問：30点

☐ 第III問：35点

1 出題傾向

2026年度の出題内容

1月26日

- [Ⅰ] 因数分解, 平面図形, 数列, 図形と方程式, 確率, ベクトル
- [Ⅱ] 2次関数, 対数方程式
- [Ⅲ] 3次関数, 数列, 解と係数の関係, 微分と積分

1月27日

- [Ⅰ] 因数分解, 2次関数, 因数定理, 指数・対数関数, 数列, 三角関数
- [Ⅱ] 確率
- [Ⅲ] 3次関数, 微分と積分

1月28日

- [Ⅰ] 因数分解, 図形と方程式, 複素数, 指数・対数関数, データの分析, ベクトル
- [Ⅱ] 三角関数, 2次関数
- [Ⅲ] 多項式, 3次関数, 微分と積分

1 出題傾向

2026年度の出題内容

1月29日

- [Ⅰ] 因数分解, 数と式, 場合の数, ベクトル, 三角関数, 微分と積分
- [Ⅱ] 三角比, 平面図形
- [Ⅲ] 多項式, 因数定理, 漸化式

2月16日

- [Ⅰ] 因数分解, 因数定理, 複素数, 数列, ベクトル, 3次関数
- [Ⅱ] 絶対値, 図形と方程式
- [Ⅲ] 図形と方程式, 点の軌跡

3月10日

- [Ⅰ] 式の展開, 平面図形, 対数方程式, 図形と方程式, 確率, 三角関数
- [Ⅱ] 数列, 三角関数
- [Ⅲ] 3次関数, 絶対値

2. 過去問題の解説

2 過去問題の解説

π

過去問題の解説 1: 2026.1.29 文系 Ⅲ

- (i) 多項式 $P(x)$ を $x - 1$ で割った余りが 1, $x + 1$ で割った余りが 2 のとき, $P(x)$ を $x^2 - 1$ で割った余りは ア である。

以下, 多項式 $P_1(x), P_2(x), \dots, P_n(x), \dots$ が与えられており,

$$P_{n+1}(x) = (3x + 4)P_n(x) - x + 1 \quad (n = 1, 2, \dots)$$

が成り立っているとする。 $P_n(x)$ を $x - 1$ で割った余りを a_n , $P_n(x)$ を $x + 1$ で割った余りを b_n とする。

- (ii) a_{n+1} を a_n を用いて表すと イ となる。 b_{n+1} を b_n を用いて表すと ウ となる。

以下, $a_1 = 1, b_1 = 2$ とする。

- (iii) a_n を n の式で表すと $a_n =$ エ となる。 b_n を n の式で表すと $b_n =$ オ となる。

- (iv) $P_n(x)$ を $x^2 - 1$ で割った余りを n の式で表せ。

2 過去問題の解説

過去問題の解説 1: 2026.1.29 文系 Ⅲ

- (i) 多項式 $P(x)$ を $x - 1$ で割った余りが 1, $x + 1$ で割った余りが 2 のとき, $P(x)$ を $x^2 - 1$ で割った余りは ア である。

2 過去問題の解説

過去問題の解説 1: 2026.1.29 文系 Ⅲ

以下, 多項式 $P_1(x), P_2(x), \dots, P_n(x), \dots$ が与えられており,

$$P_{n+1}(x) = (3x + 4)P_n(x) - x + 1 \quad (n = 1, 2, \dots)$$

が成り立っているとする。 $P_n(x)$ を $x - 1$ で割った余りを a_n , $P_n(x)$ を $x + 1$ で割った余りを b_n とする。

(ii) a_{n+1} を a_n を用いて表すと イ となる。 b_{n+1} を b_n を用いて表すと ウ となる。

2 過去問題の解説

π

過去問題の解説 1: 2026.1.29 文系 Ⅲ

以下、多項式 $P_1(x), P_2(x), \dots, P_n(x), \dots$ が与えられており、

$$P_{n+1}(x) = (3x + 4)P_n(x) - x + 1 \quad (n = 1, 2, \dots)$$

が成り立っているとする。 $P_n(x)$ を $x - 1$ で割った余りを a_n , $P_n(x)$ を $x + 1$ で割った余りを b_n とする。

(ii) a_{n+1} を a_n を用いて表すと イ となる。 b_{n+1} を b_n を用いて表すと ウ となる。

$$P_n(x) = (x - 1)Q_4(x) + a_n,$$

$$P_{n+1}(x) = (x - 1)Q_5(x) + a_{n+1}$$

とおく。

$$P_{n+1}(x) = (3x + 4)P_n(x) - x + 1$$

$$= 3(x - 1)P_n(x) + 7P_n(x) - (x - 1)$$

$$= (x - 1)\{3P_n(x) - 1\} + 7P_n(x)$$

$$= (x - 1)\{3P_n(x) - 1\} + 7\{(x - 1)Q_4(x) + a_n\}$$

$$= (x - 1)\{3P_n(x) - 1 + 7Q_4(x)\} + 7a_n$$

2 過去問題の解説

π

過去問題の解説 1: 2026.1.29 文系 Ⅲ

以下、多項式 $P_1(x), P_2(x), \dots, P_n(x), \dots$ が与えられており、

$$P_{n+1}(x) = (3x + 4)P_n(x) - x + 1 \quad (n = 1, 2, \dots)$$

が成り立っているとする。 $P_n(x)$ を $x - 1$ で割った余りを a_n , $P_n(x)$ を $x + 1$ で割った余りを b_n とする。

(ii) a_{n+1} を a_n を用いて表すと イ となる。 b_{n+1} を b_n を用いて表すと ウ となる。

$$P_n(x) = (x + 1)Q_6(x) + b_n,$$

$$P_{n+1}(x) = (x + 1)Q_7(x) + b_{n+1}$$

とおく。

$$P_{n+1}(x) = (3x + 4)P_n(x) - x + 1$$

$$= 3(x + 1)P_n(x) + P_n(x) - (x + 1) + 2$$

$$= (x + 1) \{3P_n(x) - 1\} + P_n(x) + 2$$

$$= (x + 1) \{3P_n(x) - 1\} + \{(x + 1)Q_6(x) + b_n\} + 2$$

$$= (x + 1) \{3P_n(x) - 1 + Q_6(x)\} + b_n + 2$$

2 過去問題の解説

$$a_{n+1} = 7a_n$$

$$b_{n+1} = b_n + 2$$

過去問題の解説 1: 2026.1.29 文系 Ⅲ

以下, $a_1 = 1, b_1 = 2$ とする。

(iii) a_n を n の式で表すと $a_n =$ 工 となる。 b_n を n の式で表すと $b_n =$ 才 となる。

(iv) $P_n(x)$ を $x^2 - 1$ で割った余りを n の式で表せ。

(iii) $a_1 = 1, a_{n+1} = 7a_n$ より,

$$a_n = 1 \cdot 7^{n-1} = 7^{n-1}$$

$b_1 = 2, b_{n+1} = b_n + 2$ より,

$$b_n = 2 + (n-1) \cdot 2 = 2n$$

2 過去問題の解説

π

過去問題の解説 1: 2026.1.29 文系 Ⅲ

以下, 多項式 $P_1(x), P_2(x), \dots, P_n(x), \dots$ が与えられており,

$$P_{n+1}(x) = (3x + 4)P_n(x) - x + 1 \quad (n = 1, 2, \dots)$$

が成り立っているとする。 $P_n(x)$ を $x - 1$ で割った余りを a_n , $P_n(x)$ を $x + 1$ で割った余りを b_n とする。

(iv) $P_n(x)$ を $x^2 - 1$ で割った余りを n の式で表せ。

3. 合格に向けて

3 合格に向けて

合格！

当日の時間配分には
細心の注意を

過去問題
の演習

微積分法の重点的
な対策，典型問題
の把握

3 合格に向けて

- ✓ Pointになるのは公式だけではない.
- ✓ 無限にある問題を, 限られたパターンにまとめるため, 流れを『理解』していこう.
- ✓ 自分専用のポイント集を作ろう.

例題

(1)

(2)

(3)

解答

(1) 出来た!

(2) ???

(3) ...



- ① 答えを見る → 理解する
- ② 答えを見ずに, 自分で
(1)から解答を組み立てる